

学習におけるルールやマナー

平成23年度 武川小学校

1 学習の開始前（準備）

- ☐ 学習用具を忘れない。
 - ・ 忘れたときには、自分から申し出る。
 - ・ 忘れたときの対応は、教師が決めた方法に従う。
- ☐ 鉛筆は家で削ってくる。学校に来てからは休み時間に削っておく。
- ☐ チャイムが鳴り終わるまで（できるだけ鳴るまで）に着席する。
- ☐ 次の時間に必要な物のみ机の上に出して学習の準備をする。
 - ・ 教科書、ノート、ワーク、筆箱を出しておく。教科書、ノート、ワークは開いておく。
- ※前の授業が終わった時点で、できるだけ次の授業の準備をしてから席を離れる。
- ☐ 教師が遅れた場合、前時の復習または本時の予習をして静かに待つ。
 - ・ 友達と話をしないなど、静かに待つ。

2 あいさつ・返事

- ☐ 学習のはじめとおわりのあいさつは、気をつけの姿勢で行う。
 - 次の①～④の方法については各学級で決めておく。
 - ①座ってあいさつをするのか、立ってあいさつをするのか。
 - ②号令は日直がするのか、学級委員長がするのか。
 - ③号令は「気をつけ」「礼」とするのか、「気をつけ」「礼」のあとに全員で授業開始時には「始めましょう」、終了時には「終わりましょう」を言うのか。
 - ④号令はなしで授業を開始するのか。（児童を引きつけ、そのまま授業に入る方法もある）
- ☐ 指名されたら返事をする。「は」と「い」の間は短くする。「は」行の発音に気をつけて、はっきりと言う。

3 話す

- ☐ 発言するときは、挙手と同時に「はい」と言う。手はまっすぐにあげて、指名されたら返事をし立って発言する。
- ☐ みんなの方を向いて（下を向かない）、その場に応じた声の大きさではっきりと話す。
- ☐ 文末は敬体（「です」「ます」）で話す。
- ☐ 語尾までしっかりと話す。（日本語の文末決定性を意識させる）
- ☐ 友達の名前を出したり、呼んだりするときは、「君」「さん」をつける。
- ☐ 教師に対して、友達に言うのと同じような口調で話さない。

4 聞く

- ☐ 発言している人の顔を見て聞く。
- ☐ 私語、手いたずらをしない。
- ☐ 発言があるときでも、黙って最後まで聞く。
- ☐ 分からないことがある場合は質問をする。
- ☐ どの人の意見も尊重する。
- ☐ 友達の間違い、失敗を笑わない。

5 書く

- ☐ 正しい鉛筆の持ち方で書く。
- ☐ 丁寧な文字で書く。
- ☐ プリントやノートへの記録は、黒板に書かれたことだけでなく、教師や友達の話でも大切なことは書く。＊

6 姿勢

- ☐ 正しい姿勢で座る。椅子に深く腰掛け背筋を伸ばし、床に足をつける。机とお腹は拳一つ分にする。
- ☐ 30 cm以上本やノートから目を離して読んだり、書いたりする。書くときは、左手（右手で）でノートを押さえて書く。
- ☐ 本を両手で持って読むことを基本とする。（サイドラインを引きながら読むなどの場合は別）

7 その他

- ☐ 机から離れるときは、椅子を入れる。
- ☐ 提出物の提出期日を守る。
- ☐ 机の上の整理整頓をする。
- ☐ 欠席したときは、後日ノートを友達に見せてもらい写す。＊
- ☐ 教室を離れるときは、机の上に物を置かない。
- ☐ 教室移動は静かに素早く行い、時間に遅れない。
- ☐ 移動教室の際、決められた席に着く。勝手に席を替えない。
- ☐ 筆箱の中身は、鉛筆5本、赤鉛筆（赤ボールペン）、名前ペン、消しゴム、直定規を最低限入れておく。

- ★上記指導内容は、児童が授業に主体的に参加させるためのルールやマナーとして、原則全学年で共通に指導をするものとする。ただし、＊のついたところなど、一部学年の実態に応じて指導内容から外してよい。
- ★学習習慣として定着できるように繰り返し指導する。
- ★上記以外に必要なルールは各学級で決めて指導する。
- ★これをいつでも見えるところに置いたり、掲示したりする。